

## 会派の意見

9月定例会を振り返って

### 市民クラブ

将来へ積み残す

市政課題が明らかに

今議会では、長く将来にわたり費用負担が必要になる課題が明らかになりました。

文化プラザ「かるぼーと」の長寿命化整備事業です。今年3月末にコンサルタントから報告された整備基本計画では、今後、20年で115億円もの巨額の事業費が必要とされ「かるぼーと」の在り方についても課題を投げかけられた形となりました。

しかし、市民にとって必要不可欠な文化施設であり、また、地域の避難所でもあることから、重要な施設であることに間違いなく、オーテピア同様、県との連携も視野に入れる必要もありそうです。

今回の唐突とも言える議案提出は、議論の時間も限られ、執行部の対応は不十分であったと言わざるを得ません。

### 保守・中道クラブ

本市財政状況、かるぼーと長寿命化整備事業、GOTO、いじめ問題等に清水、横山両議員が言及

清水議員は歳入減が見込まれる財政運営に対し、寄付金の扱い方や歳出予算の一部見直し等、今までない厳しい状況においての方向性について具体的な答弁を引き出し、かるぼーと長寿命化整備事業では財源確保に対して市長の考え方や方向性を引き出しました。

横山議員は自治体によって異なるGOTOキャンペーンの考え方を問い、特に観光、飲食業界への継続的な支援について答弁を求め、また昨年度より問題提起をしている本市「いじめ重大事態」事業についても教育委員会の姿勢について問いました。

### 日本共産党

市民負担の軽減を求め、かるぼーと改修予算に修正案を提出

かるぼーと改修事業を含む予算原案については、予算決算常任委員会会で日本共産党を含む反対多数

により否決される「異例」の事態となった。この背景には議会への説明を軽視する市長の姿勢がある。

日本共産党は、かるぼーとが文化芸術振興に欠かせない施設であると認めた上で、今回の改修予算40億円については、市民負担を軽減するための財源確保の検討が不十分であるとして再検討を求め、討論と修正案の提出を行った。

昨年度決算議案では、新庁舎建設費用の過大な増額、市民会館事業での競争性のない特命随意契約などを理由に認定しなかった。

### 公明党

公明党は「国民宿舍桂浜荘」の支援について、官民格差を是正した修正案を提出しました。この修正案は否決となりましたが、指定管理者業務の在り方と、行政の今後の対応について示唆するものになったと自負しています。

また「高知市文化プラザ長寿命化整備事業に係る継続費」は、40億円もの予算額が挙げられ議会も市民も驚きを隠せないものとなりました。しかしながら、公明党はいつ、事故が起きても不思議ではない劣化状況を先送りできないとの立場から経費の縮減などを提案した上で、市長に要望書を提出し

予算案に賛成しました。

### 新こうち未来

これでいいのか？「かるぼーと」と国民宿舍「桂浜荘」

開館後18年が経過した「かるぼーと」の長寿命化整備費40億円の提案に驚く。全体事業費は100億円を超す。文化施設であることから、専門、高度の技術を要するとしても、新こうち未来は、審議材料や審議時間が足らず、継続審査を求めた。国民宿舍桂浜荘の公費注入にも限界があると苦言。

### 清和クラブ

暮らし・環境・産業の調和を

海治甲太郎議員が犯罪被害者等支援に向けた条例制定からコロナ禍におけるJRR四国の経営改善への自治体の連携、中小事業者の事業継続に向けた土地利用など幅広く質問を行い、本市の支援を要求。

### 山嶽会

新型コロナウイルス対策に注力

高橋裕忠議員が質問に立ち、コロナ感染拡大の中での防災対策から市有財産の有効活用についてまで、質問・提案をいたしました。今後市民の皆さまの生活安定に向け議会活動を行ってまいります。